

折に触れ 四字熟語

NO.211 『舐糠及米』 しこう きゅうまい

< 意味 > 被害が次第に本体に及んだり、拡大したりすることのたとえ。また、領土を次々に削られて、滅亡にいたるたとえ。こくぞうむし穀象虫などの害虫が米の外側の糠をなめ尽くすと、中身の米を食べるようになる意から。「糠を舐りて米に及ぶ」と訓読する。

語 釈：「舐」はなめる、ねぶる意。「糠」は米のぬか。

一 言：ウクライナを取り巻く情勢は緊迫の度を増しています。8年前のロシアによるクリミアの併合のことを思い起こすとウクライナの将来が心配になります。

参考文献：岩波書店「四字熟語辞典」